

令和4年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	臨床看護総論	分野/教育内容	専門分野Ⅰ/基礎看護学
開講年次・時期	2年前期 令和4年5月18日	単位数/時間	1単位/30時間 臨床看護総論は、概論：20時間、 化学療法を受ける患者の看護：2時間、 緩和ケア：2時間、終末期看護：6時間の 4単元を合わせて1単位となる
担当講師名	金沢 瞳	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師、医療リハビリテーションセラピスト
授業の概要	看護の基本としてさまざまな健康上のニーズを持つあらゆる年齢層の人々に、既習の基本的な看護の考え方や知識・技術を統合して応用するプロセスやその看護の実践・実践を学ぶ。		
到達目標	個々の対象者の状況に応じた、看護援助の実践に役立てることができる		
事前学習内容	次の授業に該当する部分（症状について）を予習したうえで講義に臨むこと		
成績評価の方法	終講試験（60点満点）、受講態度を踏まえて評価する		
使用テキスト	医学書院 臨床看護総論（第6版）、学研 看護過程に沿った対症看護（第5版）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	健康障害を持つ対象者への看護の基本的な考え方 1) 経過別看護 2) 症状別看護 3) 治療・処置別看護		講義
第2回	主要な症状を示す対象者への看護：意識障害・ショック		講義
第3回	主要な症状を示す対象者への看護：貧血		講義
第4回	主要な症状を示す対象者への看護：脱水		講義
第5回	主要な症状を示す対象者への看護：高体温・低体温		講義
第6回	輸液療法を受ける患者の看護		演習
第7回	主要な症状を示す対象者への看護：呼吸困難（呼吸困難・チアノーゼ）		講義
第8回	主要な症状を示す対象者への看護：浮腫		講義
第9回	主要な症状を示す対象者への看護：吐血・咯血・下血		講義
第10回	主要な症状を示す対象者への看護：黄疸		講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 実際の臨床場面で応用することをイメージしながら講義を受けること 教科書だけではなく、他の文献も最大限に活用しながら自己の知識を深めること 不明な点は、積極的に質問しその場で理解するように努めること 		

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	臨床看護総論 (緩和ケア)	分野/教育内容	専門分野 I /基礎看護学
開講年次・時期	2 年前期 令和4年7月	単位数/時間	1 単位/30 時間 单元ごとの授業時間の内訳は以下のとおり ・ 概論：20 時間 ・ <u>緩和ケア：4 時間</u> ・ 化学療法を受ける患者の看護：4 時間 ・ がん性疼痛看護：2 時間
担当講師名	西 明子	所属・役職	岩手県立釜石病院・主任看護師
		資格・免許	緩和ケア認定看護師
授業の概要	看護の基本としてさまざまな健康上のニーズを持つあらゆる年齢層の人々に、既習の基本的な看護の考え方や知識・技術を統合して応用するプロセスやその看護の実際・実践を学ぶ		
到達目標	終末期における患者と家族の心身の特徴を理解し、終末期看護と緩和ケアを学ぶことができる		
事前学習内容	教科書の終末期看護(緩和ケア)に関する内容について、開講までに教科書に目をおしておく		
成績評価の方法	筆記試験(配点は15点を予定)		
使用テキスト	専門分野 I 臨床看護総論 基礎看護学④ 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1・2回	終末期における看護(緩和ケア)		講義
履修上の留意点	このテーマの授業を受けるにあたり、気持ちが辛くなり講義を受講できないことが予想される場合は事前に教えてください		

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	臨床看護総論 (がん化学療法を受ける 患者の看護)	分野/教育内容	専門分野Ⅰ/基礎看護学
開講年次・時期	2年後期 令和4年9月21日	単位数/時間	1単位/30時間 單元ごとの授業時間の内訳は以下の とおり ・ 概論：20時間 ・ 緩和ケア：4時間 ・ <u>化学療法を受ける患者の看護：4 時間</u> ・ がん性疼痛看護：2時間
担当講師名	長澤 末美	所属・役職	県立宮古病院 主任看護師
		資格・免許	がん化学療法看護認定看護師
授業の概要	化学療法の原理を知り、化学療法を受ける患者・家族への援助を学ぶ		
到達目標	1. 化学療法の原理を理解する 2. 化学療法を受ける患者・家族への、治療前、薬剤の投与中・後の援助を理解する		
事前学習内容			
成績評価の方法	試験での評価(配点は15点)		
使用テキスト	医学書院 臨床看護総論		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	がん化学療法薬の知識・副作用		講義
第2回	化学療法を受ける対象者への看護		
履修上の留意点	・ 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける ・ 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和4年度 59 回生 授業概要(シラバス)

科目名	臨床看護総論 (がん性疼痛看護)	分野/教育内 容	専門分野 I /基礎看護学
開講年次・時期	2 年前期 令和 4 年 9 月 30 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 单元ごとの授業時間の内訳は 以下のとおり ・ 概論：20 時間 ・ 緩和ケア：4 時間 ・ 化学療法を受ける患者の看護：4 時間 ・ <u>がん性疼痛看護：2 時間</u>
担当講師名	田中 由美子	所属・役職	岩手県立宮古病院・ 主任看護師
		資格・免許	がん性疼痛看護認定看護師
授業の概要	安楽に関連する症状のメカニズム、アセスメントについて理解し患者のニーズ充足に向けた援助について学ぶ		
到達目標	1. 痛みや吐き気のメカニズムについて、アセスメントの方法について理解する 2. 痛みのある患者への援助について理解する		
事前学習内容	テキストの p. 231～246 を読んでから授業に臨む		
成績評価の方法	筆記試験(配点は 10 点)		
使用テキスト	医学書院 臨床看護総論		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	安楽に関連する症状を示す対象者への看護		講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 		